

医薬品の供給状況について

いつものお薬の予定が 違うお薬に変わっていた事はありませんか？
いま 全国的規模で 医薬品の供給が滞っています・・・

医薬品が供給困難になったきっかけは、2020 年 12 月に端を発した製薬企業の業務停止処分でした。その影響で他の企業の同じ成分の医薬品の需要が急に増え、製造が追いつかず「出荷調整」（出荷先や出荷量の制限）の医薬品が出てきたため、入手しにくい状況が起きました。

その後実施された各々の製薬企業による自主点検においても、いくつかの不備が発覚し、更なる自主回収や製造中止・業務停止などによる品薄が「出荷調整」の品目増加に繋がり、入手困難な状況に拍車がかかることとなりました。

他にも新型コロナウイルス感染症の世界的な影響で、感染症関連の医薬品の需要増加や、製造や流通がスムーズにいかなくなったことも供給困難の原因の一つです。

今ではジェネリック医薬品のみならず、先発医薬品まで手に入りにくくなりました。医薬品の供給不足問題は、留まることなく続いている状況です。

私たち薬剤師は治療継続のため、いつも服用していただいているお薬がすぐに手に入りにくい場合、他のメーカーで同じ成分のお薬を可能な限り取り寄せるよう、最大限努力しております。

また、他のメーカーで同じ成分のお薬が販売されていない場合や「出荷調整」等で入手できない場合は、医師に同じ効能効果をもつ異なる成分のお薬への変更等の相談をしています。

他にも、必要としている患者さんに広くお薬をお渡しするため、医師にいつもよりお渡しする日数を短くする等の相談をする場合もあります。

決して不安に思わずしっかりと説明を聞いていただき、飲み忘れや飲み間違いがないよう、ご協力をお願いいたします。また、たとえ同じ成分のお薬であっても、製薬会社が変われば添加物が異なることもあります。万が一、不調等を感じたらすぐご相談下さい。

医療従事者は、医薬品供給困難の渦のなかでも、安心して医薬品を使用していただけるよう、最大限の工夫をしております。今までと変わらず、安心してお薬の使用を継続していただきたいと思っております。

皆さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが ご理解・ご協力をお願いいたします